

『はなをくんくん』

ルース・クラウド文
マーク・サイモント絵
きじまはじめ訳 福音館書店



ゆきがふる森の中、のねずみも、くまも
りすも、ちっちゃなかたつむりも、やまねずみもねむって
る。あれ！みんなめをさましたよ。はなをくんくん、のね
ずみがかげだした。みんな、はなをくんくん、かけていく。
白と黒だけで描かれた冬景色、最後のページに色をつけて
描かれたのは何でしょう。春を待ち望む心に思わずにつこ
りとなる絵本です。

『こぐまのクーク物語』

～クリスマスのおとまり会～

かさいまり 作
角川つばさ文庫



こぐまのクークの住む森も12月にな
りました。クークはお母さんが作っ
てくれたアドベントカレンダーをなが
めて、指折り数えてクリスマスをまっ
ています。今年は特別な日になりそ
う。それははじめて、お友だちがク
ークのお家でおとまりするからです
。さて、どんなクリスマスイブにな
るのでしょうか。サンタさんのプレ
ゼントも楽しみです。絵もいっぱい
で、小学1～2年生くらいから、よ
めますよ。

《おしらせ》

毎月第4土曜日におはなし会をしています
みんなであそびにきてください

年末の休館日は 12月28日(土)
新年の休館日は 1月4日(土)

ホームページ

<http://www.shinkou-kyoukai.org/>

こひつじ文庫だより

2019.12月 NO.59



こひつじ文庫のクリスマス

12月14日(土) 午後2時～4時

おともだちを
さそってきてね

キャンドルサービス
おはなし
絵本の読み聞かせ
クリスマスの工作
ケーキとお茶の会

『クリスマスのちいさなかね』

ロルフ・クレンツァー 文
マヤ・ドゥシコウワ 絵
女子パウロ会 訳
女子パウロ会



イエスさまがお生まれになる頃のベツレヘムに、ラヘル
という女の子がいました。お父さんは羊飼いなので、夜も
羊の番をしています。ある日ラヘルは道ばたで、小さな銀
のカネを拾いました。物知りのおばあさんはカネの音を聞
いて「これは特別なカネ、大事にするんだよ」といいます。
天使が神さまのみ子の誕生を知らせたとき、ラヘルとお父
さんは、み子に会いに行こうと急ぎます。大事なカネを鳴
らしながら、み子をさがします。

『クリスマス人形のねがい』

ルーマー・ゴッデン 作
バーバラ・クーニー 絵
掛川恭子 訳
岩波書店



大切にしてくれる小さな女の子と
出会いたいとねがう人形のホリー。

ひとりぼっちの自分をなぐさめてくれるものを求める
女の子アイビー。子どもがほしいと思っているジョー
ンズさんの奥さん。3人の願いが出会うとき、奇跡の
ようなしあわせがおとずれます。願いは、求め、信じる
からこそかなうものだと、私たちに教えてくれるもの
がたり。原題は「ホリー(ひいらぎ)とアイビー(つた)の
物語」イギリスの有名なクリスマスの讃美歌です。

『喜びの泉』

ターシャ・テューダー 作
食野雅子 訳
メディアファクトリー出版



聖書には箴言がありますが、私たちは
短いことばに喜びを見出すことがあります。
子どもや自然を愛した、ターシャ・テューダーの温か
いまなごしで描かれた水彩画が美しく、彼女が好きな
シェイクスピアやホイットマンの詩との組み合わせが
が、味わい深く心に響きます。

『はてしない物語』

ミヒヤエル・エンデ 作
上田真而子・佐藤真理子 訳
岩波書店



母さんはいない。父さんも、僕には関心
がないみたいだ。おまけに、学校みんな
は僕をからかうのが楽しいらしい。だから、
僕はこの世界が大嫌いだった。でもある日、一冊の本と
出逢った。その不思議な本によって、僕はすごい仲間たち
と出逢ったんだ。そこで、今度は僕から、この本を手にと
ってくれる人に手渡したいと、真剣に願っている。
この「はてしない物語」を君の物語として。
僕の名前はバスチアン・バルタザール・ブックス。